

繊維工業

九州毛織株式会社

付加価値の高い、高品質の「糸」で
世界に勝負を挑む。



九州毛織 株式会社
島原市有明町大三東丙31
TEL.0957-68-2111
FAX.0957-68-1805
代表取締役社長/石森賢治
設立日/1958年5月24日
資本金/90,000,000円
業種/繊維工業
従業員数/100名

衣料品等に用いられる細い「糸(梳毛)」を製造(紡績)販売している。原料にはウールや合成繊維(アクリル、ポリエステル等)を使用。スーツやセーター、靴下などをはじめ、学校制服や公的機関の制服に使われるなど、安定した品質が評価されている。紡績会社は九州でも珍しく、「Made in Japan」が再注目される中、より質の高い製品づくりを目指して、日夜邁進している。

補助事業の内容と成果

多機能自動ワインダー導入による 品質向上と多種原糸使用時の 高効率化

事業のきっかけ

近年、ファストファッションが流行する中において、海外製品と対抗するためには、価格に見合った高品質の製品を製造することが必要不可欠である。そのためウール純糸、複合素材糸それぞれに特化した仕様の機械設備の導入が急務であった。ウール純糸は天然繊維のため原料品質のブレが大きく、投入ごとの細かなセッティングが必要になるため、人員も時間も要していた。また複合素材糸に関しては、毎年様々な新しい原糸開発を要求されており、多品種小ロット化に対応できる体制づくりが必要であった。

事業内容・成果

これらの課題を解消するために導入したのが「多機能自動ワインダー(原糸巻き取り機)」。搭載されている「ホットスライサー」により不良糸の除去率が上がり、糸継ぎ時の継ぎ目がより均一にかつ高品質になった。またセッティングが簡単になったこと等から作業時間が短縮し、生産性が向上。短納期への対応をはじめ原糸ロスの減少、省電力化にもつながった。さらに同機搭載のデータ管理ソフトウェアにより、データの蓄積と分析をより細かに行うことができるようになった。品質向上とコスト削減を同時に実現できたことで、競争力が強化したことは大きな成果であった。

今後の展望

今後も海外製品に対する競争力強化はもちろんのこと、導入した最新のワインダーを活かし、多様な製品開発に力を入れ、国内での販売先を増やしていきたい。

ものづくり補助金活用

ウール製造量、
複合糸製造量ともに

生産量が **19%アップ**

結び目の強力アップ、巻き形状の安定化などの改善が見られ、品質が格段に向上した。

